

2020 年度実施概要

学校名

竹富町立 船浦中学校

採択活動名

「海・自然と生きる探究活動」の実践 ～地域の中で学ぶ海洋教育～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 体験ダイビング	3	総合
2. 浦内川筏下り	全	総合
3. マングローブFW	全	総合
4. ビーチクリーン	全	総合

取り組みの概要

<p>○体験ダイビング</p> <p>西表の海を学ぶために、地域の協力団体（西表ダイビング協会）の協力の下、西表・鳩間間のバラス島付近で体験ダイビングを行い、サンゴの観察やサンゴ礁にすむ生き物たちの観察・記録を行った。</p> <p>○浦内川筏下り</p> <p>多様な生物の宝庫である浦内川を筏で下り、西表の山、川、海の繋がりについて学ぶ。蛇行する亜熱帯の浦内川を仲間と協力して作成した筏で下りながら、両側に広がる大自然について学ぶことができた。</p> <p>○マングローブFW</p> <p>琉球大学の渡辺助教授に協力を依頼し、船浦湾に自生するニッパヤシの観察を行った。マングローブに広がる干潟の役割や、オヒルギ、メヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ニッパヤシなどの分布の違いに着目させ、植物がそれぞれそこに自生している理由を体験活動の中で、探究的に気付かせることができた。</p> <p>○ビーチクリーン</p> <p>星砂海岸の漂着ゴミの清掃に取り組んだ。ペットボトルや発泡スチロール、プラスチックゴミなどの膨大なゴミの量から、自分たちの生活をどのように見直していった良いのか、考える機会となった。また、漂着ゴミを国別に仕分けることで、潮流についても学ぶことができ、海洋ゴミに関する諸課題は、グローバルな視点で解決していかななくてはならない問題であることに気付くことができた。</p>
--

活動中の写真

○体験ダイビング



○筏下り



○マングローブFW

